

どう使われたの？



86億9,774万円
質疑の一部をお伝えします。

経済建設常任委員会

答弁

無人ヘリコプターによる水田などへの農薬散布は、環境や健康に不安をもたらす。住民への周知は行ったか。今後中止の方向にあるか。

周知を徹底し、町内の方からの苦情はなかった。住宅地付近を非散布区域とすることで散布区域は減少した。農薬の規制が強まるなど厳しい状況をふまえ、今後検討していく。

答弁

セル苗育苗の普及、畑作路地野菜などの普及を進めた。今年はゴーヤ（にがうり）の生産面積が増えた。

答弁

平成17年度決算において、町税が5,319万円、負担金が62万円、計5,381万円の不納欠損が発生している。

税負担の公平性を保つために、安易な欠損処理はできない。処理理由として、

- ①滞納処分を行って3年が経過している。
- ②生活保護世帯のように生活維持が困難。
- ③外国人が国外へ出国。
- ④時効で消滅。などがある。生活実態調査、財産調査、所在確認に力を入れ、滞納の減少に努める。

延長窓口での納税実績は。人件費に見合うのか。

答弁

町税を主に、年間934万円の収納実績を上げている。振替休日に対応しているため、経費増はない。

町は電話交換業務を委託している。「接続に時間がかかる」「どこの課からの電話かわからず、返信できない」などの声を聞く。経費節減の意味からも、直通にできないか。

答弁

直通電話もある。代表電話番号にかければ、担当者につなぐ利便性も求められる。

答弁

商工会に商工会振興費や組織強化対策事業として900万円が補助された。商工会が主催する事業になぜ補助金を支出したか。

商工会は町の商工業発展のために役立っている。予算の計上の方法については、今後検討したい。

答弁

水道料金の滞納への対応策は。

17年度は3033件の未納があった。そのうち、400件に給水停止予告を行い、収納に努めた。現在は、給水停止者はいない。

文教福祉常任委員会

みんなの税金

要援護高齢者対策紙おむつ支給事業の成果は。

答弁

在宅寝たきり老人や重度心身障害者に紙おむつを支給し、介護者支援を図るもの。月2,000円分を130人の対象者に約5万3000枚支給した。

答弁

結核検診などの受診率が昨年に比べて下がっている。

受診対象者について、昨年度から県が示した統一基準によるものになった。このため、受診率が見かけ上低下した。

一般廃棄物最終処分事業（ゴミの焼却残渣の埋め立て）の今後の見通しについて。

答弁

草津、小諸の2施設において、埋め立て処分を委託している。17年度は1811トンの残渣を処分した。現処分場が満杯になるのに備えて、新しい場所を準備している。今後20年は大丈夫と確認している。

就学援助費の使い方は適正か。その内容は。

答弁

生活困難家庭の児童の保護者を対象に、学校において必要な経費（学用品・給食費・修学旅行費）などを援助した。給食費が主で、126人が対象となった。支給額は一人当たり約5万円前後である。

答弁

夏場の教育環境の改善を図るため、全小中学校の154教室に扇風機570台を設置した。子どもたちにも勉強がはかどると好評である。

各学校の教室に扇風機が設置されたが、どんな状況か。

臨海学校の支出が、昨年に比べて250万円安くなっている。

答弁

市町村合併により、広域で運営していた臨海学校は、伊勢崎市に委託することになった。費用については、管理運営費を児童数割で負担する。17年度改修費がなかったことや、伊勢崎市の児童が増加していることなどが減額の原因である。

園芸作物振興推進事業として110万円が補助されたが、どのような成果が上がったのか。

平成17年度一般会計決算 決算特別委員会における



町道106号線改良工事の進捗状況は。

答弁

国道354号から玉村高校への進入路として、2車線のスムーズな交互通行で交通安全を確保する。国道354号から鮎兼の十字路までは、今年度着工の予定である。